
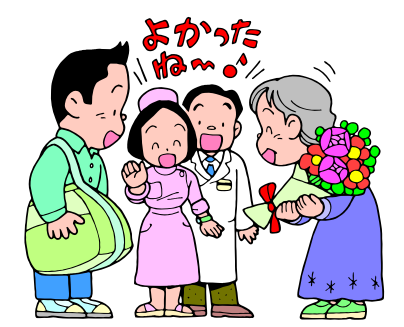





肩甲骨皮弁術を受ける患者さんへ

患者氏名

主治医:

受け持ち看護師:

項目	月日 / /	(入院日・手術前日)	(手術当日)	(術後1~2日目)	(術後3日目)	(術後4~6日目)	(術後7日目)	(術後8日目)	(術後9日目)	(術後10日目)	(術後11日目以降)	(術後26日目)	(術後27日目~退院日)
達成目標		入院の目的が理解できる 入院時の説明が理解できる 手術の準備を整えることができる	手術後の安静を守ることができる 感染予防策を行うことができる			創部の安静を守りながら、離床を進めることができる 感染予防策を行うことができる			経口摂取ができる			創部感染所見がない	創部感染所見がない 心理・社会面に問題がない 退院後の生活について理解できる
治療・薬剤 (点滴・内服) ・処置 ・リハビリ		入院時、内服している薬の確認をします 抗血栓薬(血液を固まりにくくする薬)を内服している場合はお知らせください  ポピドンガーグルでの口腔ケアを開始します  毎日、医師の診察があります 平日(8時30分~) 火曜日(7時30分~) 土日祝日(9時~)	<手術前> 手術の前に、手術着に着替えます 手術が2番目以降の場合、9時頃から点滴が開始となります 朝の内服薬は、医師が指示したものを内服します 必要時、弾性ストッキングを履きます 手術前に口腔ケアを行ってください  <手術後> 手術後は、ICUへ入室し全身管理を行います 抗生物質の点滴を2回/日(朝・夕)行います 持続点滴は続きます	<ICUより帰室後> 手術後2~3日目に病棟にベッドで帰ってきます 点滴や創部に管が入ってきます 医師の診察があります			抗生剤の点滴は夕で終了です 医師の許可が出たら、持続点滴が終了します			持続点滴は終了です 			
検査		採血	採血 レントゲン	採血 レントゲン	採血 	採血	採血				定期的な採血やレントゲンなどの検査があります		
活動・安静度		制限はありません	手術後は、仰向けでのベッド上安静となります	仰向けでのベッド上安静です							状態に合わせて医師の指示のもと安静度が拡大していきます		
食事		手術前日の夕食までは制限はありません 麻酔科医師の指示に沿って、絶食や水分制限を行います	絶食です					鼻の管から流動食の注入を行います(6日目から)				嚥下造影検査で問題が無ければ、流動食が開始になります 摂取状況に合わせて、食事形態を変えていきます	
清潔		制限はありません	入浴はできません		看護師が清潔ケアのお手伝いをします						創部の管が抜け、医師の許可が出たらシャワーを浴びることができます		
排泄		制限はありません	尿の管が入ります		尿の管が入っています 便はベッドに寝たまま差し込み便器にします						歩行できる状態であれば尿の管を抜きます。その後の制限はありません		
患者様及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導		入院後は、病棟内をご案内し入院生活について説明します 手術のオリエンテーションを行い、手術当日や翌日以降の明致し、術前の準備を致します 術後はICUへ入室するため必要物品を説明し、準備をしていただきます 口腔ケアの方法は、パンフレットで説明します 医師から手術についての説明があります	看護師が口腔内を消毒します					医師の指示によって口腔ケアが可能になります 口腔ケアの指導を行います 歯科衛生士からの口腔ケアも行われます 				退院後の生活を踏まえて、看護師が退院指導をします 状況を見て、薬剤師による薬剤指導があります 	

注: イラストはMPCのイラスト集より転載

この経過表は治療期間中のおおよその経過をお知らせするものです。諸所の理由で経過通りにいかない場合もありますことをご了承下さい

宮崎大学医学部附属病院